



彩の国  
埼玉県



埼玉県マスコット  
「コバトン」

# 川越農林振興センターだより

発行 川越農林振興センター

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0902/>

川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越公共施設棟5F mail:r421810@pref.saitama.lg.jp

(管理部) ☎049-242-1808 (代表)

(農業支援部) ☎049-242-1804(直通)

(農村整備部) ☎049-242-1814(直通)

飯能市双柳353

(林業部) ☎042-973-5620(代表) mail:f735620@pref.saitama.lg.jp



## 令和4年度農事功績表彰・緑白綬有功章

山下徳弥さん、笑子さん ご夫婦で受章(川越市:(株)ヤマシタフラワーズ)

山下ご夫妻は、パンジー、ビオラの秋出荷を初め、流行に合った商品の開発、効率的できめ細やかな栽培管理で高品質花き大規模経営を実現。笑子氏は労務管理を担当し、取引先の拡大にも貢献しています。

日本農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を継承して独自の培養土を調整し、平地林の維持、防犯対策に貢献。担い手育成のため、研修生を受け入れ、独立や就職就農に向けて支援しています。

この度の受章、誠におめでとうございます。

### 農事功績者表彰式

公益社団法人 大日本農会



山下ご夫妻



堆肥にする落ち葉



花きハウス

## 第61回全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞

### 井上淳治さん(飯能市)

飯能市在住の井上氏が全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞され、令和4年11月10日に東京都港区の三会堂ビル「石垣記念ホール」で行われた賞状伝達贈呈式に出席されました。

全国林業経営推奨行事は、適正な森林管理並びに林業経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するものです。

井上氏は、西川地域の林業を組織化することで、永く地域材である西川材の良材生産及び林業活性化に尽力されました。また、県の森林審議会委員を務められた際には、県の林業従事者の代表として様々な提言を行い、埼玉県における林業の発展に貢献されました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。



須田 副所長

井上氏

## 令和4年度埼玉県優秀工事施工者表彰

### 有限会社横田工務店(秩父市)

令和4年11月17日に「令和4年度埼玉県優秀建設工事施工者表彰」が知事公館にて開催されました。

本表彰は建設業者の技術力の向上と良質な社会資本の整備を目的として、県が発注した建設工事のうち、他の模範となる優れた施工を行った企業を毎年表彰しています。

今回は、令和3年度に完成した工事の中から、優秀賞11工事、特別奨励賞11工事が選出されました。当センター発注工事からは「01線）くの字災害関連緊急治山工事（その2）」（入間郡毛呂山町大字阿諏訪地内）を施工した、有限会社横田工務店が優秀賞を受賞しました。

本工事は令和元年に発生した台風19号による山腹崩壊地の復旧を図ったものです。工事箇所は、溪流の最上流部であり、公道から溪流沿いに高低差120m、延長630mの作業道を作設し、資材等を特装車で運搬する必要がある過酷な現場でした。また、施工地内は山腹崩壊地のため急峻で足場も悪く、倒木も多い現場でしたが、事故防止のため周囲の安全確認を容易にする周囲モニター付き重機の使用等で安全に配慮し、かつ丁寧に見栄え良く完成させた点が評価されました。

令和元年台風19号は全国に大きな被害を及ぼし、当センターが管理する森林管理道でも全14路線のうち、13路線81箇所が被災しました。このうち完全に通行不能となった箇所等4路線18箇所を災害復旧工事として計画しました。令和5年3月現在、4路線16箇所の復旧工事が完了し、うち2路線が通行可能になりました。

山腹崩壊等につきましては、被災した12箇所のうち危険度の高い1箇所を治山事業の緊急災害復旧工事として計画し、本表彰受賞工事を含めた2工事により復旧が完了しました。

今後も皆様の安全かつ快適な生活の確保と地域の林業振興のため、鋭意、工事を進めてまいります。引き続き、復旧工事への御理解、御協力の程よろしく申し上げます。



01線)くの字災害関連緊急治山工事(その2)(左:復旧前、右:復旧後)

## 森林管理道通行状況について

災害復旧工事を進めていますが、まだ通行できない森林管理道があります。現在当センターが管理する森林管理道において、通行可能な路線は、清流線の一部、平坂飛村線、奥武蔵2号線、苅場坂線、権現堂線のみです。

森林管理道通行状況につきましては、以下のURLを御参照ください。  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0902/forestry/road-closed.html>



## 令和4年度埼玉農業大賞 地域貢献部門 優秀賞

### J Aいるま野南畑米生産組合(富士見市)

J Aいるま野南畑米生産組合は、水管理などできることは個々の農家が自ら行い、機械作業などを地域の農作業受託組織に作業委託する方法で、各農家が農業への関わりを持ち続けながら地域で無理なく水稻栽培できる体制を作りました。

組合員が中心となって、非農業者も含めた環境保全協議会を立ち上げ、農業施設の点検、草刈りなどの環境整備や菜の花まつりなどの交流イベントを実施し、地域農業の保全と活性化に大きく貢献しました。



中央がJAいるま野南畑米生産組合

## 令和4年度埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門 優秀賞

### 山口由美さん(越生町)

山口氏は、うめの生産だけでなく、ホテル、大学等の他分野とコラボした商品開発を行うとともに、自園産のうめや加工品の有利販売を行うため、カフェを経営するなど、経営の多角化を進めています。

また、仲間作りや、情報発信を目的とした「全国うめサミット2016 in おごせ」を開催した他、現在では海外にも梅ファンを作るためのアジア・ヨーロッパへの輸出など、様々な挑戦を続けています。



中央2名が山口ご夫妻

## 知事賞 亀田康好さん(坂戸市)

令和4年11月14日、坂戸市酪農家の亀田氏に、埼玉県表彰規則に基づく知事賞が贈られました。この賞は、県内の様々な分野において、長年の功績がある方に贈られるものです。

亀田氏は、酪農で全国表彰を何度も受賞されるとともに、子供達への食育の一環とした「モーモースクール」の開催、農業大学校をはじめとする多くの研修生の受け入れ等、県内農業の発展に尽力してきました。これらの功労がたたえられ、知事賞を受賞されました。



亀田氏

## 入間地方青年農業者会議、3年ぶりに通常開催

令和5年1月17日、青年農業者によるプロジェクト発表等を行う「令和4年度入間地方青年農業者会議」を狭山市市民会館にて開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和2年度は中止、令和3年度も無観客での開催となっていました。今年度は感染防止対策を講じながら通常開催し、3年ぶりに青年農業者の貴重な発表機会を確保することができました。

当日は所沢市4Hクラブ、狭山市4Hクラブ、三芳町4Hクラブ、むさし4Hクラブの代表から、様々な課題の解決に向けた取組の発表を行い、審査員10人（指導農業士7人、農村女性アドバイザー2人、当センター農業支援部長）による審査が行われました。

審査の結果、1位には『角川食堂コミュニティファームで「農業と食のたのしい」を発見！！』を発表した所沢市4Hクラブの神山貴宏氏が選ばれました。昨年度のサクラタウン角川食堂とタッグを組んだ地産地消の活動をさらに発展させ、農業体験を通じて地域の子供達や家族に農業の面白さと食の奥深さを伝えようとする取組でした。その取組と内容、発表態度が高く評価されました。2位には『狭山市4Hクラブの認知向上とブランド化』を発表した狭山市4Hクラブの市川凌汰氏が選ばれました。狭山市では、全国トップクラスの生産量を誇るさといもを始め、市場価値が高い多彩な農産物が生産されている一方で、地元では認知度が低いのではという危機感から、SNSやメディアを活用した認知向上と、独自のステッカーによるブランド化に取り組んだものです。新しい視点を取り入れながら共同で継続的に行ってきた取組が高く評価されました。1位、2位に選ばれたお二人は2月8日に行われる県大会に進むこととなりました。

また、研修会では公益財団法人肥料科学研究所理事の相崎万裕美氏から「施肥の基本と化学肥料低減技術ー肥料コスト低減に向けて今何をするのかー」と題して御講演い

### 令和4年度入間地方青年農業者会議



後列左から小林農業支援部長、吉田氏(むさし4HC)、森田氏(三芳町4HC)  
前列左から竹詰所長、神山氏、市川氏、亀田氏(指導農業士)

ただきました。専門的な見地から施肥の基本や土づくりの大切さ、肥料低減の方法などのお話があり、時流を捉えた有意義な研修機会となりました。

当センターでは、青年農業者相互の研鑽の場である組織活動や各々の農業技術・経営の資質向上を図るプロジェクト活動を引き続き応援していきます。

## 米づくりの省力化をすすめています！

農業が抱える労働力不足等の課題を解決する手段の一つとして、農作業の省力化を目的とした鉄コーティング種子による「水稻湛水直播栽培(すいとうたんすいちよくはさいばい)」があります。当センター管内では、富士見市を中心として、この栽培に取り組んでおり、今回はその内容をご紹介します。

本技術は、鉄粉でコーティングした種子を専用播種機等で水田に直接播種する技術です。一般的な田植えと比較して、種子のコーティング作業が必要となりますが、育苗作業を省略できることから、作業時間の大幅な削減が可能となります。また、育苗箱の運搬にかかる重労働がなくなるため、作業の負担を減らすことができます。さらに、水田に播種した種から芽が出て生育していくため、同時期に田植えをしたほ場より収穫時期を遅らせることができ、直播と田植えを組み合わせることで収穫作業を分散することもできます。

ただし、本技術は、ほ場の選定や水管理を誤ると水田に雑草が繁茂してしまったり、苗の生育がばらつき、収量が不安定になったりするという課題があります。



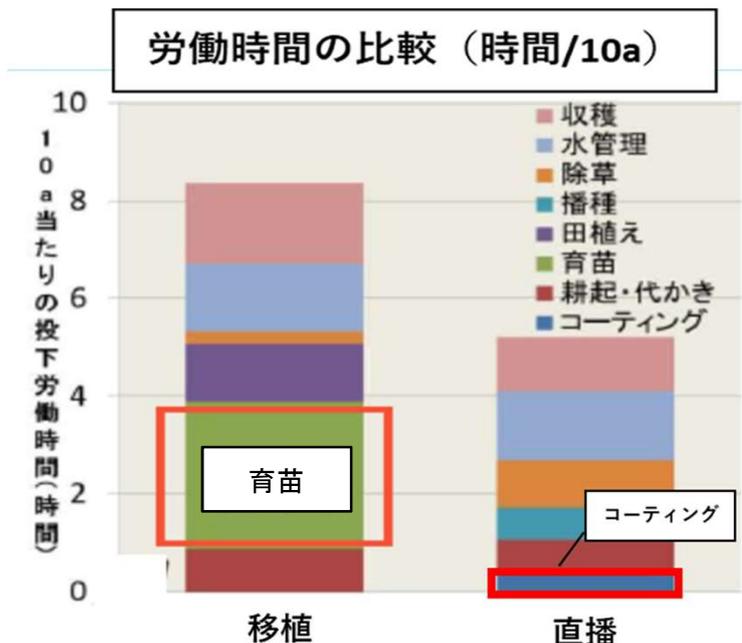
鉄コーティング作業



専用播種機による播種作業

取組当初はこの課題に直面しましたが、播種後のこまめな水管理や適切な雑草防除技術を確立させたことによって、今では一般的な田植えと同程度の収量・品質が確保できるようになりました。

管内での取組面積は年々拡大しており、今後も発展が期待される技術です。当センターとしても引き続き本活動を支援してまいります。



※収穫までの労働時間

※平成25年にA県において鉄コーティングに取り組む3法人を調査した結果

## 果樹幼木へのシカ防護柵設置について

近年中山間地域を中心に、シカによる果樹や花木への被害が増加しています。

特に、定植したばかりの果樹については、シカの食害により枯死する場合も多く、被害は深刻です。高齢化した樹が増えている中で、幼木への改植を進めている産地では、せっかく植えた苗を何度も植え直さなければならない状況になっています。

そこで、植えた苗を、シカの食害から防ぐ方法をご紹介します。

シカ対策としては、ほ場全体をワイヤーメッシュや電気柵で囲う方法もありますが、今回は、簡易で安価な防護柵で、幼木を1本ずつ囲う方法です（図1、2参照）。

柵に必要な資材は、パイプハウスなどに使用するストレートパイプや獣害防止ネットで、ホームセンターなどでも購入できます。長いパイプを切断する必要がありますが、パイプカッターを使用して簡単に切断できます。費用は幼木1樹あたり7,000円前後です（令和4年9月現在）。

詳細な設置方法については、マニュアルを作成しましたので、農業支援部へ御問い合わせください。マニュアルは以下のURLを御参照ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/24150/sikasaku.pdf>



図1 防護柵(越生町 うめ)

地上からの高さ 1.8m  
(シカが飛び越えず、口の届かない高さ)

間口・奥行 各1.8m  
(幼木が大きくなっても  
3~5年は囲って防げる大きさ)



図2 うめほ場に設置した防護柵



図3 うめの葉を食べるシカ

## マンゴー経営の更なる発展に向けて法人化

法人名：さいたマンゴー株式会社（代表取締役 中村奨平）

市町村：毛呂山町

経営の概要

- （1）設立年月日 令和4年11月1日
- （2）経営規模 畑43a（マンゴー栽培15a）
- （3）主要資本装備 5連棟パイプハウス（15a）

中村氏は、農業をこれからの成長産業と捉え就農を志し、会社員を辞めて令和2年度から毛呂山町において「いるま地域明日の農業担い手育成塾」に入塾しました。

研修当初から、約15aの農業用ハウスを建設し、マンゴーのボックス栽培にチャレンジしてきました。その成果が認められ、令和4年度に毛呂山町から認定新規就農者に認定され、就農を果たしました。

生産したマンゴーは、自らの直売所やインターネットを通じて販売しています。埼玉県でも美味しい完熟マンゴーができることを知ってもらいたいとの思いから、「さいたマンゴー」と名付け商標も取得しブランド化に取り組んでいます。

生産したマンゴーの安定的な販売と将来に向けた雇用労力の安定確保を考え、令和4年11月1日に、「さいたマンゴー株式会社」を設立しました。

入間郡の若い農業者の新星として、更なる活躍が期待されています。



さいたマンゴー株式会社  
代表 中村氏



生産する完熟マンゴー

## 第19回西川材フェアの開催について

令和4年11月13日、飯能市役所駐車場で第19回西川材フェアが3年ぶりに開催されました。西川材フェアとは、飯能市を主産地とする木材である「西川材」を、多くの人に知ってもらい、親しんでもらうためのイベントであり、埼玉県も後援しています。イベント当日は、森林組合や林業・木材産業関係団体等が出展し、およそ4千人が来場されました。

子どもたちによる模擬上棟式や、木挽き実演、西川材製品マーケットなどがあり、子どもから大人まで楽しめるイベントでした。特に、二人挽き鋸体験では、参加者が丸太を切ることができ、家族連れなどで賑わっていました。

今回のイベントをきっかけに、木材の良さを実感し、使いたいと思う人が増えることを期待しています。



西川材フェア会場



二人挽き鋸体験



木材製品展示



模擬上棟式

## 多面的機能支払交付金のすすめ

### 【多面的機能支払交付金とは？】

農業・農村は、作物の生産をはじめ自然環境の保全や良好な景観形成など多くの役割（多面的機能）を果たしています。

多面的機能支払交付金は、これら多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保安全管理を推進しています。

### 【取組内容について】

本交付金は、水路の草刈りや泥上げなどの農地維持活動のほか、農村の景観形成や施設の補修・更新などに活用できます。

交付金の基本単価は下表のとおりです。

#### 多面的機能支払交付金の基本単価

##### 農地維持支払交付金（草刈りや水路の泥上げ等）

田：3,000円/10a

畑：2,000円/10a

※本交付金を活用する場合は農地維持の活動は必須です。

##### 資源向上活動交付金

共同活動（環境保全や多面的の増進を図る活動）

長寿命化（水路の更新等）

田：2,400円/10a

畑：1,440円/10a

田：4,400円/10a

畑：2,000円/10a



水路の泥上げ



令和元年度台風19号復旧作業 稲わら除去

### 【災害復旧にも活用できます！！】

近年、台風や大雨などによる被害が頻発しています。本年度管内でも、ため池の堤体崩落、水田への土砂流入などの被害がありました。

40万円以上の復旧工事は国の補助を受けられますが、災害査定にある程度の時間を要します。本交付金は復旧費用が少額でも対象となり、早急に対応ができます。使い勝手の良い災害復旧事業としても活用ください。

#### ＜災害対応の活用例＞

- ・ 異常気象前後のパトロールに対する日当
- ・ 閉塞した水路の泥上げ、稲わらの除去など復旧作業の日当、道具の購入費、必要機材のリース料
- ・ 復旧作業の外注費

すでに共同活動を行っているが本交付金を活用していない地域の方は是非ご検討ください。また、本交付金に興味のある方は、お住まいの市町村又は当センター農村整備部 ☎049-242-1814へ御連絡ください！

## 農業振興地域制度について

### 1 農業振興地域制度とは

「[農業振興地域の整備に関する法律](#)」（昭和44年法律第58号。以下「農振法」という。）に基づく制度で、農業振興を図ることが必要であると認められる地域を保全し、その地域の計画的な整備を図ることを通じて、農業の振興と国土資源の合理的な活用を目的とする制度です。

### 2 制度の仕組み

- (1) 知事が、農地、農業用施設（農機具庫、農産物貯蔵庫、加工施設など）、農業を営む方々の住居などを含めて、一体として農業の振興を図ることが相当である地域について、「農業振興地域」として指定します。
- (2) 県が、農業振興地域として指定した地域を有する市町村は、「農業振興地域整備計画」を策定します。その計画の中で、農地や農業用施設などの将来にわたって農業目的に利用すべき土地を、「農用地区域」として指定します。埼玉県では63市町村中、53市町村が農業振興地域を有しており、入間地域では全ての市町村が農業振興地域整備計画を定めています。

### 3 制度の効果

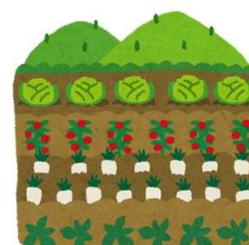
「農用地区域」においては、農業基盤整備事業（農地の区画整理（「ほ場整備」という）や、用排水路の整備など）といった農業関連の補助事業が集中的に実施され、効率的な農作業が行える環境が整えられます。また、「農用地区域」の農地等は、農業的利用を継続することとされているため、農地転用（農地を農地以外に利用すること）が制限されます。



### 4 農用地区域内における制限について

農振法では、原則として農用地区域で開発行為を行うことはできません。農用地区域の土地を農業以外の目的に利用するためには、事前に市町村の「農業振興地域整備計画」の変更（いわゆる「除外」）が必要になります。この手続きを進めるためには、**農振法に定められる除外の要件を満たすことが必要**ですので、詳しくは市町村の農政担当課窓口にご相談ください。

市町村が計画を変更するためには、その旨を公告し、変更案を縦覧した上で、県に協議することなどが法律で義務付けられているため、**手続には時間がかかります**。また、受付時期も限られています（市町村により時期が異なります。）。各市町村へ早めに事前相談することが肝要になります。

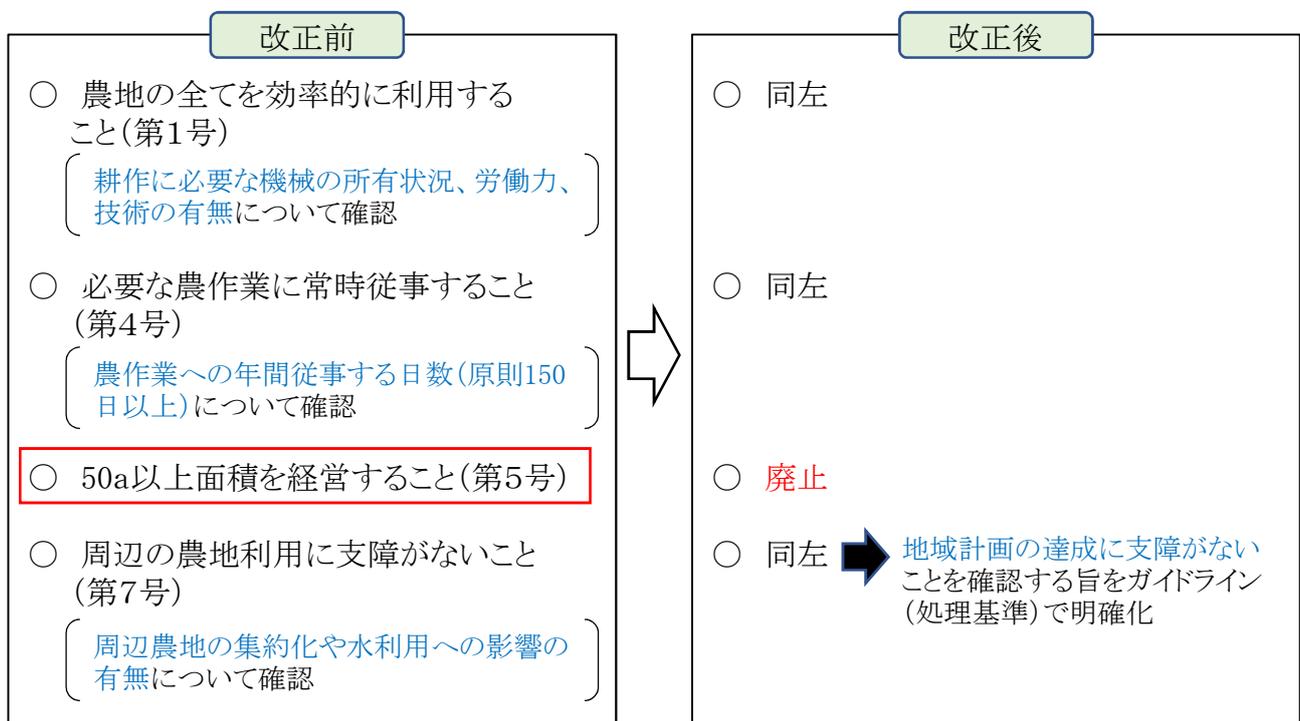


## 農地法改正に伴う下限面積要件の廃止について(農地法第3条関係)

農業者の減少・高齢化が加速化する中においては、認定農業者等の担い手だけではなく、経営規模の大小にかかわらず意欲を持って農業に新規に参入する者を地域内外から取り込むことが重要であり、これらの者の農地等の利用を促進する観点等から、農地法第3条第2項第5号に規定する面積要件が廃止され、令和5年4月1日から施行されます。

ただし、改正後においても、下限面積要件以外の要件は維持されます。

### 【農地法第3条の許可基準】



## 引き続き「サツマイモ基腐病(もとぐされびょう)」にご注意ください

サツマイモ基腐病(もとぐされびょう)は、国内で急速に広がり、深刻な被害を与えている病気です。埼玉県では令和3年に発生が確認されましたが、適切な処置により感染の拡大はありませんでした。

サツマイモ基腐病対策の基本は、病原菌をほ場に「持ち込まない、増やさない、残さない」ことです。特に、病気にかかっていない苗を使用することが最も重要です。サツマイモの種苗を購入する際には、発病リスクの少ない、履歴の確かなものをご購入しましょう。適切な方法で生産された無病健全苗であること、および変色などの異常がないことを確認し、未消毒の苗であれば消毒してから植え付けましょう。

出荷用の生産はもとより、自家用としてサツマイモを栽培する皆様も十分な注意をお願いします。本病にかかる相談については管理部 ☎049-242-1808へ御連絡ください！



葉が赤変し、生育不良の株(定植後40日頃)



茎基部の黒変症状



基部が黒変した苗



塊根(いも)の腐敗症状



画像出典: 生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)

令和3年度版マニュアル「[サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策](#)」より

### さつまいもの苗消毒に使用できる薬剤の例

薬剤名	希釈倍率	使用方法	使用時期	使用回数
ベンレート水和剤	500~1000倍	30分間 苗浸漬	植付前	1回
ベンレートT 水和剤20	200倍	30分間 苗浸漬	植付前	1回

農薬を使用する際は必ずラベルを確認し、使用基準を守ってください。

## 三富地域農業振興協議会 令和4年度のイベントについて

三富地域農業振興協議会（構成員：川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、三芳町の5市町とJ Aいるま野、埼玉県及び地元の農業者、地域住民、平地林の地権者の会など）は、三富地域の歴史や自然・農業文化の一端に触れる機会を作り、三富地域農業に対する興味関心へのきっかけとなるよう、様々なイベントを開催しています。

令和4年度は、コロナ感染拡大防止の行動制限が緩和され、中止してきたイベントを再開することが出来ました。令和5年度も楽しいイベントを企画しますので、御参加をお待ちしております。

### 【令和4年度 協議会実施イベント】

#### ① 「農」と里山シンポジウム

期日：10月8日 講師：森永卓郎氏（獨協大学教授・経済アナリスト） 参加者：約330人

#### ② 三富地域平地林散策とさといも収穫体験

期日：11月23日 場所：平地林（川越市）、大木農園（川越市） 参加者：45人

#### ③ さんとのめの木をいかす展

期日：11月26日・27日 場所：小江戸蔵里 来場者：約400人 参加者：約80人

#### ④ 角川武蔵野ミュージアムで植菌'g！

期日：1月28日 場所：角川武蔵野ミュージアム 参加者：21人

#### ⑤ 三富千人くず（落ち葉）掃き

期日：1月29日 場所：平地林（所沢市、狭山市） 参加者：69人



イベント情報は  
こちらから！

[「さんとのめねっと  
ホームページ」](#)



①講演する森永氏



②「さといも」の収穫体験



③三富産材木製品の展示



④植菌方法の説明



⑤落ち葉を集める子供たち